

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 24日

神戸市長 宛

提出者

住所 兵庫県美方郡新温泉町芦屋338-1

氏名 株本建設工業株式会社
代表取締役社長 株本 寛

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0796-82-1511

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株本建設工業株式会社
事業場の所在地	兵庫県美方郡新温泉町芦屋338-1
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	0600 総合工事業 主として管理事務を行う本社等
②事業の規模	完成工事高 77億8300万円
③従業員数	117人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙2に記載

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙2に記載

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
①現状	(これまでに実施した取組) 別紙2に記載		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
	(今後実施する予定の取組) 別紙2に記載		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2に記載
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙2に記載

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙2に記載		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙2に記載		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） 別紙2に記載			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） 別紙2に記載			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙2に記載		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙2に記載		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
（これまでに実施した取組） 別紙2に記載			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2に記載		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和5年度)実績量

計画：今年度(令和6年度)計画量

単位：トン/年

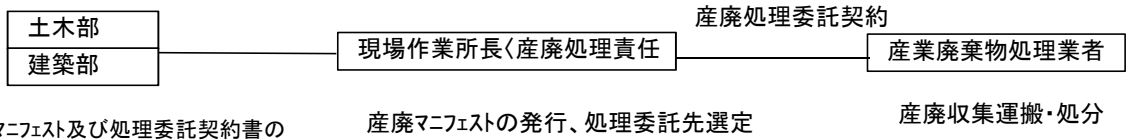
産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②) [※]		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③) [※]		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥	2276.63	2048.967									2276.63	2048.967			2276.63	2048.967				
0300廃油																				
0400廃酸																				
0500廃アルカリ																				
0600廃プラスチック類	3.78	3.402									3.78	3.402			3.78	3.402				
0700紙くず	0.15	0.135									0.15	0.135			0.15	0.135				
0800木くず	140.28	126.252									140.28	126.252			140.28	126.252				
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず																				
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず																				
1400鉱さい	356.86	321.174									356.86	321.174			356.86	321.174				
1500がれき類	209.03	188.127									209.03	188.127			209.03	188.127				
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
2010建設系混合廃棄物(安定型)																				
2020建設系混合廃棄物(管理型を含む)	51.64	46.476									51.64	46.476			51.64	46.476				
2100安定型混合	18.61	16.749									18.61	16.749			18.61	16.749				
合計	3056.98	2751.282	0	0	0	0	0	0	0	0	3056.98	2751.282	0	0	3056.98	2751.282	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	0600 総合工事業 主として管理事務を行う本社等
②事業の規模	完成工事高 77億8300万円
③従業員数	117人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph TD A[<工事現場>] --> B[産業廃棄物発生] B -- 処理委託 --> C[再生利用埋立等] </pre>

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙3を参照)



3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 再生処理業者へ引渡、再生利用。
②計画	(今後実施する予定の取組) 現在と同様の取り組みを行う。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・金属くず・紙・木くず→再生可能資材 その他混合物 →その他処分 として分別。
②計画	(今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状維持の予定。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

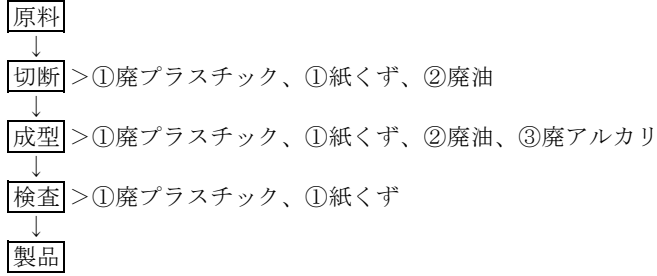
①現状	(これまでに実施した取組) 特になし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 特になし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 再生利用する処理業者に、書面により委託契約をしている。
②計画	(今後実施する予定の取組) 再生利用する処理業者に、書面により委託契約をおこなう。

(別紙3)

○ 産業廃棄物の一連の処理の工程



- ① 廃プラスチック、紙くず、廃プラ・紙くず混合物
収集運搬<委託: △△運輸>→破砕・圧縮成型<委託: △△クリーン>
→RPFとして販売
- ③ 廃油
収集運搬<委託: △△運輸>→焼却<委託: △△クリーン>
→焼却残さは管理型処分場に埋立処分<委託: △△興業>
- ② 廃アルカリ
収集運搬<委託: □□産業>→中和<委託: □□産業>
→中和処理後は下水道放流。
中和残さは焼却し、管理型処分場に埋立処分<委託: △△興業>

○ 管理体制図

